

## 室内

### ・リモコン式のセンサーアラームを設置する。

侵入されやすい窓のある部屋に取り付けておき リモコンでON状態にしておくと侵入者を検知して大音量のアラームをならして撃退する。様々なタイプが販売されているが大抵の製品は検知後アラームがなるまで10秒程度のタイムラグがあり、その間にリモコンでOFFすれば本人に対して警報をならすことは無い、また、暗証番号タイプはリモコンを持っていない家族も番号で解除が可能。



ちょっとだけ外出に出る時にもボタンを押すだけで防犯機能が働くので大変便利です、ゴミ出し時などについて近所さんと話しこんでしまう方にはお勧めです。

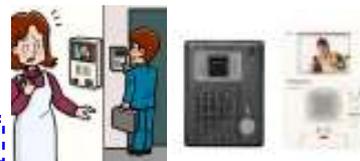


## 家屋周辺

### ・テレビモニター付きドアフォンを取り付ける

モニター付きドアフォンにすることで、泥棒が留守確認にドアフォンを使用しなくなります。また押し売りなど出たくない来客の対応にも有効です。

既存のドアフォンと配線が合えば自分でも簡単に交換できます。



### ・センサーライトを設置する。

センサーで動くものを検知すると点灯します。夜に忍び込む窃盗犯に対しての威嚇となりますが、近隣からの死角に取り付ける場合はパッシングライトか回転灯がお勧めです。《死角の場所に通常のライトが点灯しても近隣からは不審におもわれる事はなく窃盗犯の作業を助ける結果となります》



センサーライトを取り付けたいが電源が無くてお困りの方は、若干割高ですがソーラータイプのもも販売されています。(7千円から1万円程度) また離れた場所に室外用コンセントや、エアコンの室外機等のコンセントがあれば、防雨用の分配タップや延長コードを使用することもできます。電気代を心配される方がいらっしゃいますが、100Wタイプを30秒設定にして1日40回点灯したとしても、20分/1日X30日=10時間で 1ヶ月30円程度です(1kw)



### ・防犯カメラを設置する。

防犯カメラを設置する場合は侵入者が必ず通過する場所に設置してください、また夜間にも使用する場合は暗視タイプを購入するかセンサーライトを併用しないと効果がありません。



### ・家屋周辺に砂利などの歩くと音のする物を敷き詰める

普通の砂利でも有効な音がする量だけ引き詰めればよいが、防犯用の砂利は少ない量でも音が大きくかなり効果が高い。

窃盗事件の発生は雨の日が多いことが知られていますが、これは雨の音で侵入者の音が消されるとともに地面が柔らかくなり足音がしないためです、また外を歩く人が少ないことも理由のひとつです。雨の日を狙われなくするには雨でも大きな音のする砂利を敷き詰めることです。砂利が無理ならせめてトタン板等の踏むと音のするものを またぐことの出来ない大きさに置いてください。



### ・高いブロック塀にはフェンスガードをなどを設置する

高い塀の家は死角となるため狙われやすいので塀を乗り越えられないようにフェンスガードのような防御材の設置が必要です。

